建材メーカーとコラボで市場拡大へ

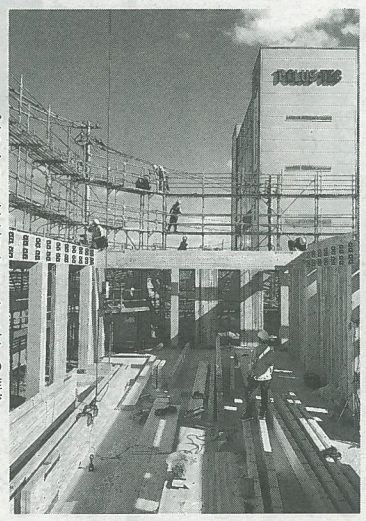
共同で建築士向けセミナー開く

ポラテック

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、非住宅市場を成長市場と考え、建築士などとの連携で市場開拓を図っている。北大路康信専務は「非住宅市場は団体戦。業界を挙げて取り組んでいく必要がある」と話し、建材メーカーなど様々な企業と共同で建築士向けセミナー開催などを行ってきた。

同社は任意団体「ポラテック木造非住宅の会」を設け、建材メーカーとの共催でセミナーを実施。非住宅木造の構造と建材・住設など2部構成で講演を開いてきた。

協力相手は、非住宅木造、木造耐火構造に不可欠な石膏ボードの吉野石膏や、外装材のケイミュー、非住宅木造に力を入れる大建工業、介護福祉施設に強い積水ホームテクノ、ふく射式床冷・暖房のN・SET。さらには、2×4コンポーネント大手の三井ホームコンポーネントとも連携してセミナーを開いてきた経緯がある。


ポラテック本社ウッドスクエアの隣で建設中の住宅品質保証本社ビル

これが「非住宅市場は団体戦」というゆえんでもある。S造、RC造の市場を木造にしていくためには、木造軸組工法も2×4工法も一緒に取り組んでいくべきという姿勢だ。

ポラテック非住宅の会は2015年に設立。昨年末時点で652社、893人の会員を抱える。無料で登録でき、構造的な相談などを1級建築士が受ける形で設計者との結び付きを強めてきた。活動は非住宅木造のセミナー開催、ポラテックの手掛けた非住宅木造の現場見学会など。

ポラテックには、ポラテック暮し科学研究所で開発したオリジナル構造部材が多数あり、これらを活用することで、在来工法だけでは対応が難しい大スパンや狭小耐力壁などを使い、プラン対応力を高めている。

また、独自の倒壊シミュレーションソフト「ウッド・イノベーターNEXT」を使って立体構造解析を実施。特に基礎構造を適切に設計でき、コスト軽減を図れることも特徴だ。

オリジナル構造部材は幅狭耐力壁（柱芯350㍉または455㍉でせん断耐力7倍相当）のパルテノンのほか、大スパンを飛ばすにはボルトラス、STTシステム、スーパーキングビームなどもある。

受注・在庫管理アプリを本格運用

フルタニランバー

業務のIoT化を進めるフルタニランバー（石川県金沢市、古谷隆明社長）はこのほど、取引先向けの受注・在庫管理アプリの運用を始めた。取引先は迅速な資材注文や発注履歴の管理が可能となった。

本格運用されたアプリ画面のサンプル

アプリの主な機能は、同社が取り扱う木材・建材の検索と発注、アプリを使った注文履歴の確認。集成材、合板・LVL、家具用芯材など各種商材が登録されている。ストア在庫として表示されるのは、資材名、サイズ、在庫状況で、選択後に数量を指定すれば注文が完了する。

ムク材などの特殊商材は、検索ではなく問い合わせページから注文する。問い合わせでは図面の添付もできるため、詳細な希望を添えて在庫確認・注文することが可能だ。

アプリの利用で顧客は、発注から手元に資材が届くまでのタイムラグを短縮できるほか、発注履歴の管理が簡便化される。

同社では無線通信による情報共有が進んでいる。倉庫スタッフはタブレットで発注内容を確認し、素早く資材をピックアップできる。配送過程の情報も顧客に提供できるシステムを取り入れており、納品タイミングの予測に役立つ。各システムの連動により受注から配送までのワンストップサービスが高効率で実現されている。

古谷社長は「現場の大工の下地材需要や、建材取扱業者の定番品仕入れに有効。当社がサポートするので多くの木材業者に導入してほしい」と話す。

アプリは同社取引先とひもづく仕組みのため、利用希望者はアプリをダウンロードし、同社に問い合わせ後、発行されるIDとパスワードを使ってログインする。新規の取引やアプリ利用を望む場合は、まず同社への問い合わせが必要だ。

アプリのダウンロードは無料で対応OSはiOS、アンドロイド。同社は将来的に対応の幅を広げたい考えだ。

新製品

同柄展開商品を一冊に

サンゲツ

サンゲツ（名古屋市、安田正介社長）は11日、粘着剤付き化粧フィルム「リアテック」、不燃認定壁紙、傷に強い壁紙「ハードウォール」の同柄展開商品を一冊にまとめた「2020-2022 同柄シリーズ イージーコーディネート」を発刊した。統一感のある空間提案が狙いだ。

統一感のある空間を提案

同柄展開する、柱やドアに使用され加工性、耐久性に特徴を持つリアテック90点、コストパフォーマンスに優れる不燃認定壁紙79点、カウンターなど耐傷性が求められる部位に使用するハードウォール27点を収録。

使用箇所や下地に合わせた商材の使い分けができるラインアップで、ホテルの客室扉と壁面の使い分けなど施工例の写真も多数掲載した。

短信

▽リビングアメニティ協会（ALIA）の新会長に5日付で、喜多村円氏（TOTO会長兼取締役会議長）が就いた。

ALIAは、住宅設備や建材にかかわる企業及び団体で構成される法人。今年で30周年を迎える。

地域ビルダー戦略 ＜548＞

沖縄でこだわりの家づくり

耐震性強化へブレスターZを標準化

アースティック那覇（沖縄）

アースティック那覇（沖縄県那覇市、石松完治社長）は、理想の住まいを徹底追求する石松社長の思いの詰まった木造住宅「イー・フレス」を供給している。

石松社長は「前向きに良いものがあればどんどん取り入れていくのが私のこだわり。岡部の〝ブレスターZ〟も福岡の展示会で熊本地震の繰り返し地震に6回も耐えるビデオを見て、岡部の茨城県の研究施設まで行って実験してもらい、全棟標準で使用することにした時期があったが、今では本州からパワービルダー、FCなどが出店してきて、木造住宅の質が低下していることを懸念している。

「設計もできないでプレカットに任せきりで、素人に施工させ、現場監理もしない。台風で被害が出ないか心配」（石松社長）。同社では石松社長自らプレカット図をチェックして、しっかりした性能の家をつくる。「当社の価値観を理解してくれる施主にだけ建てて、エネルギーを吸収して6回の大地震にも耐える」（同）と評価。標準仕様化で施主に安心感を提供できるという。

こうした姿勢は、遮熱シート「リフレクティックス」の採用や、減震装置のオプション設定など、良いものを積極的に探して使うことにも表れている。

「リフレクティックスは赤外線の反射率が1%違うが、気温では6度の差につながる」（同）といい、その分野の№1のものを選択する。

沖縄でこだわりの木造住宅を供給する

木材は九州の杉KD材を使った時期もあったが、沖縄の気候を考え、Rウッド構造用集成材をニッサンクリーンで防腐・防蟻処理する。原田木材のNEO-BASIC Ⅲ工法として使用する。

沖縄の木造ブームがブームで終わらないよう、真摯な姿勢で前向きに取り組んでいる。

また、銘木類の在庫を多く持ち、奈良などの産地まで直接仕入れに行くという。